

## 審 判 上 の 確 認

### 審 判 委 員 長

- 1 本大会は、2025 年度（公財）日本バレーボール協会 6 人制競技規則、および 2025 年度（公財）日本中学校体育連盟バレーボール競技部 6 人制ルール取り扱いにより実施する。
- 2 競技参加者は、公式競技規則を熟知し、これを守らなければならない。また監督およびチームキャプテンは、チーム関係者の言動について責任をもたなければならない。
- 3 両チームのラインアップをスコアラーがスコアシートに記入し終えたら、チームはラインアップを訂正することはできない。ただし、そのセットが始まる前にスターティングラインアップの選手が負傷した場合は、監督がファーストレフェリーに申し出て、確認後変更することができる。この変更は選手交代には含まれない。なお、変更は負傷した選手のポジションに限る。
- 4 サービングチームの選手は、1 人または集団でスクリーンを形成してサービスヒットおよびサービスボールのコースが相手チームに見えないように妨害してはならない。サービングチームの選手は、サービスボールがネットを超えるまで、手を頭より上にあげてはならない。意図的なスクリーンが疑われる場合、ファーストレフェリーはゲームキャプテンを通じてチームに注意することができる。
- 5 サービスヒットの瞬間、両チームは（サーバーを除き）それぞれのコート内に位置していなければならない。レシービングチームの選手はサービスヒット時、ローテーション順に位置していなければならない。サービングチームの選手はサービスヒット時、どの位置にいてもよい。
- 6 ゲーム中のワイピングは、原則としてコート内の選手が行う。タイムアウト、セット間およびレフェリーが危険と判断した場合のみモップの使用を許可する。
- 7 競技参加者は、スポーツマンとして相応しくない行為はしないこと。判定に疑問がある場合は、ゲームキャプテンを通してのみ質問することができる。
- 8 リベロのリプレイスメントは、必ず 1 ラリー挟まなければならない。その際、ボールがアウトオブプレーの間に、チームベンチ前のリベロリプレイスメントゾーン内で速やかに行うこと。